

AMDA News Letter

Association of Medical Doctors for Asia

アジア医師連絡協議会

VoL.14 No.10 10月号

1991年10月15日

編集責任者:田中政宏/山本秀樹

事務局 岡山市櫛津310の1

菅波内科医院

(TEL)0862-84-7676

(FAX)0862-84-7645



AMDA Nepalクリニックの建築風景

主要トピック

国際医療情報センター便り(小林米幸先生)

第1回日タイ定期医療交流プログラム(菅波茂先生)

クルド難民/湾岸戦争被災民救援イラン派遣医療チーム現地報告(高橋応先生)

AMDA Educational Program1991年度フィールドスタディIn India(国井修先生)

AMDA1991年度秋期例会プログラム

ネパールビスヌ村地域保健開発プロジェクト

事務局便り

AMDA国際医療情報センター便り

154 東京都世田谷区新町 2-7-1 横尾ビル201

(電) 03(3706)4243 (Fax) 03(3706)4420

センター電話相談データ

1. 相談件数 9日 90件、4月～統計 529件

2. 相談者国籍

アメリカ	143	アルゼンチン 台湾 イラン	以上8
中国	62	ナイジェリア、ガーナ	以上7
フィリピン	38	インド、フランス、イスラエル	以上5
パキスタン	30	スペイン、ネパール、タイ	以上4
カナダ	24	コロンビア、メキシコ、イタリア、オランダ	以上3
バングラデッシュ	21	マレーシア	以上3
イギリス	20	シンガポール、スイス、アイルランド、ソビエト	以上2
ペルー	15	ニュージーランド、香港 カメルーン	以上2
オーストラリア	13	インドネシア、ドイツ、モロッコ、チェニジア	以上2
韓国	10	ザンビア、ドミニカ、マリ、スウェーデン、	以上1
ブラジル	9	チェコスロバキア、ポーランド、リベリア、	以上1
		エクアドル、ボリビア、ミャンマー	以上1
		不明	23

3. 相談者居住地域

東京郡	258	京都	3
神奈川	77	栃木、兵庫、新潟、熊本、愛知	
埼玉	50	北海道、韓国	以上2
千葉	28	長崎 福岡 三重 静岡 富山	
茨城	12	福島	以上1
大阪	6		
群馬、広島	4		

外国人患者受け入れに関する実務者会議を主催

9月14日(土) 東京、四谷、主婦会館にて行われました。開業医、勤務医、ソーシャルワーカー、地方自治体外国人相談係の方など 40名以上が集まり、さまざまな問題について活発な話し合いがなされました。

お知らせ

1) HIV感染症(AIDS)に関する会議を下記のごとく計画中です。主旨は最近センターにもHIV感染者からの相談が寄せられるようになりましたが、他の電話相談グループではどのように対応しているのかその情報交換、専門医からの電話カウンセラーに対する専門的指導などです。

日時:10月30日 PM7~9:00

場所:東京郡私立病院会 会議室(新宿三井ビル5F)

下記の方々に連絡中です。

電話相談グループ Tokyo English, Life, Line, アガベハウス、インターナショナル、ヘルプライン、在日外国人看護婦協会、栃木TILL、群馬ILL、仙台 外国人クリニック

行政ガイド 東京郡医療福祉 AZDS対策班

千葉、埼玉、神奈川県 各保健予防課

専門医 郡立駒込病院 根岸先生

2) 外国人の診療をセンターからお願いできる医療機関も120をこえました。現在、ワープロでデータ整理中です。会員の方からの便なる情報の提供をお待ちしています。

3) 最近、外国人だけでなく、入院中の外国人を抱える病院のソーシャルワーカーからの相談や行政からの問い合わせ、大使館からの問い合わせが増えました。また、病院そのものではなく医療制度 とくに費用に関係したものに対する問い合わせも増えてきました。

4) センターでは毎月1回土曜の午後に全員で会議を持っています。今後は前日の電話相談の内容と対応についての相談を中心に行っていくつもりです。参加希望の方はセンターまでお問い合わせ下さい。

5) 最後になってしまいましたが、10月4日より毎週金曜日、上智大学福祉専門学校学生の中中嬢が事務局を手伝って下さることになりました。よろしく願いいたします。



9月14日
外国人患者受け入れの
ための実務者会議
東京 四谷 主婦会館
AMDА国際医療情報
センター主催

■ 急増する在日外国人の医療で論議 行政は積極的対応を 全日病学会シンポ

23日の全日病学会では、近年急増傾向にある不法入国者を含む外国人医療をテーマにミニシンポジウムが行われ、医療制度の違い、医療費負担などの問題が論議された。診療・治療にあたっては外国人を特別扱いせず、基本的人権の尊重に則って対応すべきだとの主張の一方、難病患者については基本的に本国に帰すのが第一で、その国の医療水準を超えた医療は行うべきではないと断定する見解も示されるなど、基本認識に相当の開きが感じられる展開となったが、種々の問題が行政サイドの対応不足に起因するという点では一致、各演者とも医療費の取扱いを含めた体制整備を強く求めた。

小林国際クリニックの小林米幸氏は、外国人医療に取り組む姿勢として、「かわいそうという気持ちではだめ」とし、特別扱いというのではなく、日本人と同じように基本的人権の尊重に則って医療が受けられることの重要性を指摘。京都府の清水勉シミズ病院理事長も、不法入国者であっても「瀕死の重病人を助けることは人間として当然のこと」とし、この場合の医療費負担については「ケース・バイ・ケースだが行政から支払われるべき」とした。

小林氏は、「欧米、南米系の人々は(治療に対して)自分の意見をはっきり言う」とし、「(医療機関に)外国人が来たら待たなし」として、早急にインフォームド・コンセントの体制づくりが必要だと述べた。

一方、慶泉会町谷原病院の中西泉院長は、医療費の問題に触れ、「外国人が自費で払うことから保険点数を10倍にしている」とし、経済的弱者である不法就労者については、①医療費を雇用主に負担させる②検査、治療内容を選択する——との対応策を紹介。②については、「医師のコスト意識に役立つのでは」と評価した。

行政の対応について、中西氏は、「医療制度の知識啓蒙が行政サイドに欠けている」と批判し、「外国人＝面倒」とする考え方をやめるよう要望。小林氏は、ソ連のやけど少年に対して行われた募金活動のような、「小手先の解決ではいけない」とし、観光客などを含めた「外国人医療に関する条例を地方公共団体レベルで策定する」必要があると主張した。

また、エイズ患者の取扱いについてのフロアからの質問に、小林氏は「医療従事者の健康を守ることが大事」と回答。中西氏は「エイズやがんについては本国に帰すべきだとし、難病については外国人の本国で治療することが第一で、「その国の医療水準を越えてはいけない」とまで述べた。

101 東京都千代田区神田神保町2-36 薬事時報社 メディファックス
より転載許可をいただいています。(事務局)

第1回日-タイ定期医療交流プログラム

(目的)

AMDA-Internationalのプロジェクト展開のためのアジア各国間での相互理解促進プログラムです。最初の定期交流プログラムは日本とタイ国で締結されました。タイ国保健省から各地の医療機関へ通達されたうえでタイ国医療チームは構成されています。今回はコンケン総合病院とバンコッククリスチャン病院からの2チームで構成されています。次回からは春秋の2回/年で2週間単位の受け入れプログラムとなります。逆に、日本からの医療チームをタイ側は同様の条件で受け入れてくれます。日本-タイ往復運賃は各自負担です。相手国内での費用は原則的に受け入れ側負担です。このプログラムに参加希望者の方は事務局までお問い合わせください。

(タイ医療チーム日程)

	午前	午後
9月1日(日)	バンコック発	大阪着-岡山着
9月2日(月)	岡山国立病院小児科(9:30-17:00)	
9月3日(火)	岡山国立病院小児科(9:30-17:00)	
9月4日(水)	林原藤崎研究所(10:00-17:00)	
9月5日(木)	旭東病院(10:00-12:00)	美星町役場(14:00-17:00)
9月6日(金)	重井病院(9:00-12:00)	県医師会長(15:00-16:00)
9月7日(土)	岡大医衛生学(10:00-12:00)	観光(岡山市内)
9月8日(日)	観光(広島-宮島)	
9月9日(月)	青木内科小児科(10:00-13:00)	協立病院(14:00-17:00)
9月10日(火)	菅波内科医院(10:00-12:00)	かとう内科医院(14:00-17:00)
9月11日(水)	川上町立国保診療所(9:30-17:00)	
9月12日(木)	休息	岡山済生会病院(13:00-17:00)
9月13日(金)	老人保健施設すこやか苑	岡山済生会病院(13:00-17:00)
9月14日(土)	ホームステイ	
9月15日(日)	ホームステイ	
9月16日(月)	ホームステイ	
9月17日(火)	旭川荘(10:00-17:00)	
9月18日(水)	加茂川町保健医療視察(9:30-16:00)	
9月19日(木)	旭川荘(10:00-宿泊)	
9月20日(金)	旭川荘(-10:00)	産業衛生視察(14:00-18:00)
9月21日(土)	ホームステイ	
9月22日(日)	ホームステイ	
9月23日(月)	ホームステイ	
9月24日(火)	倉敷成人病センター(10:00-16:00)	
9月25日(水)	吉田農協病院(9:00-宿泊)	
9月26日(木)	吉田農協病院(-12:00)	岡山県民生労働部(15:00-17:00)
9月27日(金)	休息	岡山発-大阪着
9月28日(土)	大阪発-	バンコック着



協立病院



岡山県庁



美星町役場



青木内科小児科



国立岡山病院



済生会病院



林原藤崎研究所



産業衛生視察



かとう内科



旭川荘



旭東病院



川上町立国保診療所

(タイ医療チームメンバー)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1)Dr.Suwat Lertsukprasert | Deputy Director of Khon Kaen Regional Hospital |
| 2)Dr.Nardtaya Makhachen | Khanuan Crown Prince Hospital |
| 3)Miss Ratchnee Suwande(Nurse) | Khanuan Crown Prince Hospital |
| 4)Dr.Jirasak Wongsrichanalai | Surigion of The Bangkok Christian Hospital |
| 5)Mrs.Riab Ruangpanit(Nurse) | Assistant Director of Nursing of The Bangkok Christian Hospital |

(研修内容)

- 1)Medical Tecnology for the future
- 2)Preventitive Medicine and Occupational Health
- 3)Medical Quality Assurance
- 4)Nursing Administration in the Private Hospital
- 5)Efficiency in Nursing Process
- 6)Inservise Education in Nursing
- 7)Colonoscopy
- 8)ERCP
- 9)Peritoneal and Hemodialysis
- 10)Pediatric Care
- 11)Geriatric Care
- 12)Health Insurance and Payment
- 13)Home Visiting for Patient
- 14)Basic Health Care and Community Health Care in Japan
- 15)Nursing Administration in Community Health Center
- 16)Referral System
- 17)Cancer Registry

(謝辞)

今回の交流プログラムの実施に関しましては、上記の医療機関関係者には勿論のこと、下記の多くの方々の協力を得まして無事終了できましたことをここに厚くお礼を申し上げます。

小林明子	笹山徳治	政木和也	永瀬隆/佳子夫妻
山林規子	塚本真言	久世一郎	今井龍祥
小見山奈美子	井上太知	柴田義郎	
モハメッドライース		多田恵一/チャニントーン夫妻	



左より

田中政宏先生
Dr. Jirasak
Dr. Suwat
菅波 茂先生
Mrs. Riab
Dr. Nardtaya
Miss. Ratchnee



AMDAの会員と懇談



県医師会（会長）



加茂川町老人福祉センター



加茂川町役場



倉敷成人病センター



吉田農協病院川根診療所

[illegible]

高橋 央



①バクタラン州バビジにて

②バクタラン州キルク
チェックポイント
イランーイラク国境検門所



③バクタラン州キルク
チェックポイント
本国帰還するクルド難民
を乗せたトラック

1991年度フィールドスタディ in India

国際的な視野で医療を考える、といっても病院に缶詰状態の勤務医は勿論、減多に休めない開業医にとっても県内の動向を見つめるのが正直な話しであろうか。これからの国際医療を考えると、いかに柔軟で白紙に近い若者達が海外で経験をして将来に役立てるかが重要である。日本の中で国際保健医療に興味を持つ人々が集う国際保健医療学会では最近若者の姿が多く見られるようになった。しかし、そのほとんどは我々が学生時代にそうであったように、興味はあるがどうしたらいいのかわからずに悩んでいるようである。今なお日本政府にしても最善の方策を見つけられない幅広く深遠なこの問題に性急な答えを見いだすことはできないが、若いときの「世界との接触」は個人の人生観、哲学形成という点でも、又将来の国際的人材開発という点でも貴重なものと考えられる。

AMDAでは、学生及び若い医師のために国内外でEducational Programを実施してきた。

今回はAMDA-IndiaのDr.Mohan Alvaが責任者となって実施しているインドにおける第1回Programについて報告する。

(日時) 1991年8月3日ー8月14日

(場所) インド、カルナータカ州ムードビドレ村

(テーマ) 異文化の中で自分を見つめ直す

(責任者) AMDA-Japan 国井修

AMDA-India Dr.Mohan Alva

(参加者)

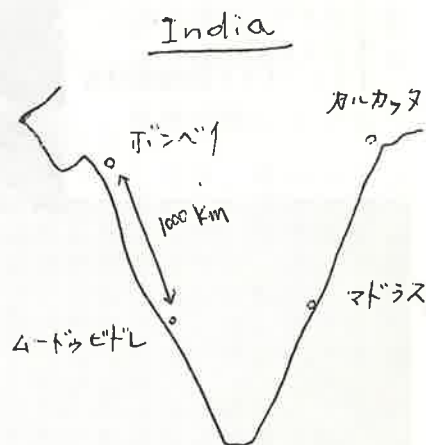
渡瀬淳一郎	(24才)	大坂大(医)5年
石川尚子	(21才)	秋田大(医)4年
亀山陽子	(20才)	産医大(衛)2年
石川牧子	(19才)	昭和大(医)1年
入江真子	(19才)	産医大(衛)1年
渡辺悦子	(19才)	済生会看護2年
水上真紀子	(18才)	産医大(衛)1年

(研修内容)

- 1) 農村の生活体験
- 2) ヨーガ研修
- 3) アユルヴェーダ医学講義とアユルヴェーダ医科大学視察
- 4) インドにおける疾患講義と現代医学大学視察
- 5) インド舞踊研修
- 6) ジャイナ教視察

(次回参加者募集)

1992年3月頃に第2回インドEducation Programを計画しています。希望者は早目に事務局又は国井修先生までお申し込み下さい。





宿泊したホテルからの風景



スポーツ学校の寄宿舎にて



Dr. Mohan Alvaと生薬園



Dr. Mohan Alvaの
ヘルスセンターの
看護婦さんと



ヨーガの先生を囲んで

AMDA1991年秋期例会プログラム

日 時：1991年10月26-27日（土、日）
場 所：つしま苑（岡山市津島新野）（宿泊可能）

26日（土） （つしま苑大会議室）

17:00-18:00

秋期例会を始めるにあって by 田中政宏（AMDA、広報部長）
91年度AMDA活動概要の報告
林原フォーラム

18:00-20:00

講演：

ネパールの医療事情についてービスヌ村AMDA地域保健開発プロジェクト
Dr. Rameshwar P. Pokharel（AMDA、ネパール前代表）
山本秀樹（AMDA、事務局長）
（途中：夕食の弁当あり）

来賓挨拶：村野陽治（岡山一宮郵便局局长）

20:30-21:30

タイ交換プログラム、バンコクAMDA友好病院プロジェクト報告
パキスタン・ミッションプロジェクト
菅波茂（AMDA、代表）

22:00- （つしま苑：和室にて）（宿泊可能）
AMDA執行部会（執行部以外の方の会員の参加可能）

27日（日）

8:30-9:00 朝食

9:15-11:00 執行部会報告

11:00-12:30

シンポジウム打ち合せ
AMDA国際医療情報センターの報告
国際保健医療学会・全国病院管理学会のシンポジウムの報告
by 小林米幸（AMDA医療国際情報センター所長）

12:30-13:30

昼食

14:00-16:30

在日外国人の医療を考えるシンポジウム
（つしま苑大会議室）

電話での問い合わせは

0862-84-7676（菅波内科医院内AMDA事務局）
or 0862-56-4591（事務局長：山本秀樹、田中政宏）

1991年(平成3年)9月27日

金曜日

山

日

第

14

ネパールの医療手助け

岡大の山本医師、来月出発

巡回診療を軸に

ボランティアも育成へ



ボランティアの育成や巡回診療を行うため、ネパールへ行く山本さん

この人は、岡山大医学部公衆衛生学教室山本秀樹さん(27)同市万成西町。山本さんは同大学院で公衆衛生の研究を続ける傍ら、

貧困のため十分な治療が受けられないネパールの人のために、岡山市内の青年医師が十月初め、巡回診療と健康教育にあたるボランティアを育成するため、ネパールへ向け出発する。医師はこれを機にネパールの医療が向上するよう援助活動を通じていきたいと話している。

電話で在日外国人に医療情報提供をするアジア医師連絡協議会(会員約四百人、事務局・岡山市植津)の事務局長を兼務。今回、民間

海外援助団体(NGO)を「ランティヤ貯金」から贈ら支援する郵政省の「国際郵便寄付金(七百三万九千円)」でネパールの援助を計画した。



ビスヌ村AMDA診療所近景

二月に現地へ導入する巡回診療車に二人の医師を乗せ、それを決定した。岡山を出発し、タイに二泊して七日にネパール入り。約十日間、首都のカトマンズから北約十五、二十キロにあるビスヌ、タンダ、チセ村(三村で人口約千五に滞在し、地元民を対象に病気の予防や健康教育ができるボランティアを育成。また、村々を回って患者を診療するとともに、十

が悪いこともあって、思うように成果が上がっていないのが実情。山本さんは「ネパール人自身で、医療状況が改善できるよう人づくりを重点に援助していきたい」と話している。

【事務局便り】

AMDA岡山本部では事務局員募集を募集いたします。
岡山の本部で週2日以上AMDAスタッフとして勤務できる方を募集いたします。英語、がある程度使える方が望ましいのですが、何よりもアジアの好きな方を募集いたします。来年度4月からは確実に勤務できる方が好ましいと思います。詳しい条件等は、相談面接の上で決定します。

また、会員の方で適任の方を御存知の方はご紹介下さい。AMDAの年会費を納入されていない方は同封の振替用紙にて所定の年会費を御納入下さい。郵便振替による自動振替制度を希望される方、会費の事に関する問い合わせは事務局までお尋ね下さい。(Y)

【会費納入者(91.8.-9)】

松山章子、小河輝子

【AMDAカレンダー(10-12月)】

10月26-27日(土、日): AMDA秋期例会-岡山: つしま苑にて

林原フォーラム、ネパールプロジェクト報告など

10月27日: 「在日外国人の医療を考えるシンポジウム in 岡山」をAMDA例会に併催。

シンポジスト: 小林米幸(AMDA国際医療情報センター所長)

村内重夫(前ペルー国立精神衛生センター研究員)

今井龍祥(ボランティアグループ、アウトロー代表)等

11月2-4日: AMSA交流会-東京大学教養部にて

11月21-26日: AMDA、International ビジネスミーティング-バンコク

参加申し込み、岡山事務局まで

12月22-23日: AMDA冬季例会 in 栃木-鬼怒川温泉(予定)

問い合わせ先-栗山村診療所 Dr. 国井修

Tel 0288-97-1014(木: 除く)

【会員消息】

Dr. Rameshwar Pokharel: 文部省奨学生として10月より神戸大学医学部に留学

(AMDA、ネパール) (ただし、半年間大阪外語大学にて日本語学習を行なう)

Dr. Eakachai Sathianpitayakul: 文部省奨学生として10月より岡山大学医学部循環器科に

(AMDA、タイ) 留学 (ただし、半年間広島大学にて日本語学習を行なう)

【編集後記】

10月よりいよいよ、AMDAネパールプロジェクトでネパールまで行ってまいります。現地での活動の様子は、10月のAMDA秋期例会、次号ニュースレターにて報告いたします。

フィリピン・トンドプロジェクト、ネパール・ビスヌ村巡回診療プログラムのパネルができました。10月6日が「国際ボランティア貯金の日」にもなったのをきっかけにしてAMDAの地元岡山では郵便局ではAMDAのパネルの展示を行います。各地の会員の方で貸出を希望する方は事務局まで御一報下さい。(Y)

10月上旬 AMDA PhilippinesのDr. Emma Palazoが来日し、金沢医大の大学祭でフィリピン・トンドプロジェクトについて講演しました。AMDA Philippinesでは、ピナツボ火山噴火被災民救援プロジェクトを開始したところで、AMDA Japan からの支援を呼びかけています。AMDA Japan事務局としましても、これに呼応するための準備を始めました。(詳細については次号で報告します) 会員のみなさんのご協力宜しくお願いいたします。(T)

【AMDA入会の案内】

AMDA（アムダ：Association of Medical Doctors for Asia）は、1984に設立した、国際NGO（非営利民間団体）で現在13カ国約200人のアジア諸国の青年医師により構成されています。日本支部AMDA, Japanには、約200人の会員（準会員、学生会員も含む）がいます

主な、活動に下記のようなプログラムがあります。

1. フィリピンのスラムにおけるヘルスセンターの運営
2. インドのアユルベータ医学の研究
3. ネパールのビスヌ村地域保健開発プロジェクト
4. 在日外国人支援医療ネットワーク
5. AMDA国際医療情報センターの運営
6. クルド人難民キャンプにおける「視聴覚健康教育」
7. アジアの産業医学に関する情報交換

入会方法：郵便振替用紙にて所定の年会費を納入して下さい。入会金は有りません。

正会員：10,000円／年（医師に限る）

準会員：5,000円／年（医師以外の社会人の方）

学生会員：3,000円／年（学生に限ります）

ただし、会計年度は4月～翌年3月です。入会の月より、会報を送付致します。

振替先：郵便振替口座「アジア医師連絡協議会：岡山 5-40709」

なお、会費と共にAMDAの各種プロジェクトのためにカンパをお寄せになる方は振替用紙の通信欄に「○○○プロジェクトのために」などご記入下さい。

郵便貯金口座（ボランティア貯金口座も含む）からの「AMDA年会費」自動引き落とし制度も開始となりました。くわしくは、岡山事務局までお問い合わせ下さい。申し込み書を送ります。

入会の問い合わせ先：〒701-12 岡山市楠津310-1

菅波内科医院内

TEL.0862-84-7676

菅波茂、山本秀樹、田中政宏

パソコン通信による問い合わせ、ニュースレターへの投稿の宛先は、マスターネットID:AEM367 または、ニフティーサーブ(NIFTY-SERVE) ID:GBA02400 山本までお願いします。パソコン通信に関する電話の問い合わせは TEL 0862-56-4591（夜間のみ：山本）

AMDA 在日外国人医療ネットワークの問い合わせ

AMDA国際医療情報センター

〒154 東京都世田谷区新町2-7-1 横尾ビル201号

TEL.03-3706-4243

FAX 03-3706-4420

-7574

AM 9:00 - PM 5:00 （月～金）

AM 9:00 - PM 1:00 （土）

小林国際クリニック

〒242 神奈川県大和市西鶴間3-5-6-11

TEL.0462-63-1380

FAX 0462-63-0919

AM 9:00 - PM 5:00 （月火木金）

AM 9:00 - PM 1:00 （土）

AMDA国際医療センター平成3年度運営協力者

(順不同敬称略)

以下の方々にご協力いただいています。有難うございます。

個人

丹羽章(栃木県)、故尾沢銚一郎氏ご家族(神奈川県)、大串孝子(神奈川県)

医療機関

井上病院(千葉市)、青梅慶友病院(東京-青梅市)、富士見病院(東京-板橋区)、町谷原病院(東京-町田市)、六本木赤枝診療所(東京-港区)、小林国際クリニック(神奈川-大和市)、永生病院(八王子市)、福川内科クリニック(大阪)、菅波内科医院(岡山市)、ジャパングリーンクリニック(シンガポール/英国)、沖縄セントラル病院(沖縄-那覇市)

以上年間12万円

会社

エーザイ、カネボウ(株)、三共(株)、昭和メディカルサイエンス(株)、ジョンソン&ジョンソンメディカル、大鵬薬品(株)、東邦薬品(株)、ファイザー製薬(株)、福神(株)、保健科学研究所(株)、協和発酵工業(株)、明治製菓(株)、田辺製薬(株)、富士コカコーラボトラーズ(株)、日本アップジョン(株)、(株)ミドリ十字、万有製薬(株)、サンド薬品(株)、大森薬品(株)、クラヤ薬品

以上年間12万円

TVC、(株)スズケン 以上年間5万円

大塚製薬 以上年間3万円

なお、当センターの平成3年度の事業に関してトヨタ財団、庭野平和財団、日本青年会議所関東部会からの助成を受けています。